

令和8年2月8日執行

神奈川県第18区選挙区(川崎市中原区、高津区)

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

神奈川18区は
日本維新の会

横田光弘

松下政経塾 2期生

高市総理＝横田で

希望ある未来へ。



応援します！

子どもの夢と家族の笑顔

中学校の給食費の無償化・保育料の負担軽減・
出産費用の完全無償化も進めます。



持続可能な

社会保障への転換

世代間での不公平感をなくし、現役世代は再チャレン
ジ可能に、シニア世代は安心した生活が送れる
日本をめざします。



日本列島を守りぬく

安全保障環境の変化に機敏に対応する

国民の命と財産、そして日本の伝統と文化を守り、
歴史を未来に繋げていく覚悟です。

経済政策も、
安保政策も。

動かすぞ 維新が。

私は松下政経塾の後輩である

高市総理と協力して

「しがらみ」や自民党すら

動かしていきます

さあ、もっと動かすぞ、横田が。

ついに高市総理も認めた、維新提案の物価高対策の切り札！

食料品消費税を2年間でゼロへ

税金と共に国民負担率を釣り上げている社会保険料！

負担を引き下げる社会保障改革

高市総理も決めた。次期国会で成立へ！

議員定数を「1割」削減

移入管理対策で安心・安全の日本に！

外国人政策の司令塔機能設置

政治との癒着をなくす！

企業団体献金廃止

高市総理と維新が自民党型政治をフル・モデルチェンジ！



横田光弘

日本維新の会

「強い経済」「豊かな日本」へ まっぴら！

まずは物価高対策を強力に推し進めます。

「責任ある積極財政」の考えの下、戦略的に財政出動を行います。ガソリン税・軽油引取税の暫定税率は
廃止・決定しました。所得税の年収の壁を見直し所得178万円まで非課税にします。医療・介護事業者等へ
の支援、中小・小規模事業者への支援、電気代・ガス代の支援、子育て応援手当等に約13兆円の予算を組み
ました。これに基づき、事業規模で約22兆円の事業を速やかに実施します。飲食料品への消費税は財源を
しっかり確保した上で、2年間でゼロにし、給付つき税額控除に移行させます。

わが国を守る責任。国際秩序を担う日本外交。

国力の根幹である経済力と防衛力を高めることで外交力を強化し、「世界の中心に立つ日本外交」を取り
戻します。同盟国・同志国との連携を強めつつ、わが国の防衛力を強化し、災害・テロ・サイバー攻撃など
複合的な危機にも対応できる安全保障体制を実現します。

時代にふさわしい新しい憲法を、私たちの手で。

戦後80年が経ち、自民党立党70年を迎え、わが国を取り巻く国際情勢が激動する今こそ、時代に
ふさわしい現行憲法の見直しが不可欠です。加えて「政治の透明性」と「民意を正しく反映する制度」を
実現するため、「令和の政治制度改革」を断行します。

強い経済で、笑顔あふれる暮らしを。

政治の責任。それは経済を再び力強く成長させ、国民一人ひとりの所得を着実に引き上げ、豊かな社会を
つくること。「責任ある積極財政」のもと、大胆かつ戦略的な「危機管理投資」と「成長投資」を進め、雇用と
所得を増やし、「強い経済」を実現します。笑顔あふれる暮らし、活力ある社会、将来に希望がもてる日本
を、そして子ども達が「ニッポンってすごいでしょ!」と、世界に胸を張れる日本を創ります。

すべての世代の安心と次世代への責任。

すべての世代が、生きがいを持ち、未来に希望を抱ける社会をつくれます。強い経済をつくり、若者の所得を
上げて、少子化対策を推進します。子育て支援、教育の充実、現役世代の負担軽減、障害者支援、高齢者の安心
な暮らしの保障を柱に、全世代が支え合い、輝ける社会の実現を目指します。インフラの老朽化対策を含む
防災・減災、国土強靱化を総合的に進め、災害に強い国土づくりを推進します。「安心」と「成長」が両立する、
持続可能で包摂的な日本へ。すべての世代の声に寄り添い、確かな政策で応えていきます。

ふるさと川崎を守り抜く。

川崎と東京の行政サービスの格差、いわゆる「多摩川格差」の原因である税収の
東京への偏りを、税制の責任者として全力で解消します。強靱な防災都市化を
進め、集中豪雨や地震など、さまざまな災害から市民の命と安全を守ります。

やまぎわ大志郎
の素顔に迫る！
地元YouTube
チャンネルへの
出演動画はこちら！



生年月日 昭和43年9月12日生まれ 神奈川県育ち
体 格 身長177cm、体重88kg、胸囲120cm いたって健康
趣味 キャンプ(野 物) 炊き立てのご飯&カレー・ラーメン
家 族 妻、息子、父、母 目下子育て真最中

神奈川県立湘南高等学校、山口大学農学部獣医学科、
東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程、
博士号(獣医学)取得。2003年初当選(現在7期)。
経済再生担当大臣3期務める。

新しい資本主義担当大臣、新型コロナ対策・健康危機管理担当大臣、全世代型社会保障改革
担当大臣、内閣府特命担当大臣(経済財政政策)、初代スタートアップ担当大臣などを歴任。
2023年 党競争政策調査会長(現職) 2024年 党総合エネルギー戦略調査会幹事長(現職)
2025年 党税制調査会小委員長(現職)



自民党
だいたい
やまぎわ
大志郎

みなさまのおかげで

実現！1期目の実績

公約実現！

- ガソリンの暫定税率廃止
- 「年収の壁」178万円への引き上げ

法案提出！

- 外国による不当な影響力の行使の
脅威に備える、インテリジェンス
態勢整備推進法案。

委員会
議論！

- 文部科学委員会では理事もつとめ
ました。教職員の待遇や働く環境の
改善についての審議では、石破総理
大臣(当時)とも議論しました。

私の
思い

全ての子どもが不安なく元気に成長できる
社会でなければ、この国に明るい未来はありません。
子どもたちが未来に希望を持てる日本を、
次世代に引き継ぎましょう！

にしおか

西岡よしたかプロフィール

- 1977年5月生まれ(48歳)
- 駒澤大学卒業 教員免許(高校地歴)
- 第50回衆議院議員選挙南関東比例ブロック初当選
- 国民民主党 国会対策副委員長／神奈川県連代表代行
- 文部科学委員会 理事
- 就職氷河期世代の元会社員、2児子育て中

政策はコチラ



もっと

手取りを増やす。

そして

次世代のため 未来をまもる

「もっと」手取りを増やす

成長戦略「新・三本の矢」 GDP1000兆円

I

「もっと」手取りを増やす

減税、社会保険料負担軽減し、人手不足解消

●

- 住民税の控除額「110万円の壁」を178万円
まで引き上げ、もっと手取りを増やし、
「インフレ増税」の悪影響を緩和
- 所得税の基礎控除の所得制限撤廃
(665万円、850万円の壁)
- 年少扶養控除の復活

II

「もっと」投資を増やす

戦略、成長分野等への「ハイパー償却税制」導入

III

「もっと」教育予算を増やす

「教育国債(5兆円/年)」で、教育・科学技術予算倍増

自分の国は、自分で守る

- スパイ防止を含むインテリジェンス態勢
整備推進法の制定と情報機関の統合による
情報収集・評価体制の強化

- 防衛施設周辺以外も対象とした
「外国土地取得規制法」の制定

- 自動車盗難対策として自動車
ヤード規制法制定

「多摩川格差」解消へ

- 権限・財源が県から市に移譲される「特別市」
制度を法制化、もっと発展する大都市 川崎へ！



国民民主党公認

国民
民主党



西岡よしたか

令和8年2月8日執行

神奈川県第18区選挙区(川崎市中原区、高津区)

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会



ひとりひとりが日本

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷、苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験戦争にもがき苦しみ、家族観や結婚観という日本人らしいアイデンティティーは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せるのではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え行動する時がきたのです。「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。日本はまだ間に合う。

1 日本人を豊かにする ～経済・産業・移民～

- 1 “集めて配る”より、まず**減税**
減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。
- 2 日本はまだ間に合う**“NO! 移民国家”**
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。
- 3 **現場の人**が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

2 日本人を守り抜く ～食と健康・一次産業・エネルギー～

- 4 **食は人の天なり**
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。
- 5 **エネルギーと資源確保が「生命線」**
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。
- 6 **安心医療で「健康国家」**
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3 日本人を育む ～教育・人づくり・国家観～

- 7 子ども一人につき**月10万円**
0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。
- 8 **受験戦争からの解放**
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。
- 9 **日本はみんなの家**
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は **参政党** とお書きください。

参政党の政策は ▶
こちらの特設サイトから！



藤田 修一 プロフィール 昭和41年(1966年)富山県生まれ。神奈川県内在住。金沢大法学。慶応大院経営管理修了。銀行の営業職、シンクタンクの研究員、大手IT企業の経営企画職などを経験。長く川崎市中原区内の事業所で勤務経験も。現在は人材派遣業にて会社員。



ふじた しゅういち
藤田 修一
参政党公認

暮らし
平和
人権

国民のためにブレずにはたらく 日本共産党

税金は国民のために使わせよう 家計を支える

人権	政治とカネ	アメリカいいなり	暮らし・経済
●統一協会と癒着 首相と自民党の「統一協会」との癒着、スキャンダルが大問題に。厳しく追及します。 ●日中関係問題 関係悪化を招いた「台湾有事発言」撤回を要求、日中関係は「対立」から「対話」へ再構築を提案しています。 アメリカにも大企業にもモノを言う本当の改革の党「戦争反対」を貫いた反戦・平和の党 政党名を書く 日本共産党 とお書き 比例代表は 日本共産党 ください	高市首相は自分と自民党の「裏金」疑惑をかくし、「裏金」議員を公認。企業・団体献金も堂々と受け取る。 日本共産党は、選択的夫婦別姓制度、ジェンダー平等社会の実現を掲げ、外国人への差別、極右・排外主義を許さず、多文化共生社会をめざします。 日本共産党は、企業・団体献金を受けとらない党だから、裏金疑惑の徹底追及、金権腐敗政治に切り込むことができます。	高市政権は、トランプ米政権の軍事力による「力の支配」を容認。米国いいなりで、他国に撃ち込むミサイル等を増やし軍事費はこの4年で、9兆円を超え、暮らし犠牲に軍備拡張へ暴走。 日本共産党は、「戦争国家づくり」「改憲」に反対し、軍事費の削減を主張。「憲法9条を生かした外交で平和を」と訴えています。	大株主・大企業利益優先の自民党政治。国民には増税、大企業には年間11兆円の減税。どの党もこれらの問題にはだんまり。 日本共産党は、財界・大企業優先のゆがんだ政治をおもとからたたく。大企業の内部留保581兆円を賃金引き上げに活用。賃上げとセツで労働時間の短縮、中小企業支援で最低賃金は時給1500円に。 消費税廃止 ただちに一律5%に減税 インボイス廃止。国の緊急支援で医療・介護の危機打開。学費の無償化。食と農業を守り食料自給率向上。

暮らしの財源→富めるものに応分の負担を。富裕層・大企業への減税見直しで30兆円の活用を

安心して生きられる社会は
つくれる
力で奪い合う社会ではなく、誰もが大切にされ、自分らしく参加できる社会へ。多様性を認め合い、希望と安心を分かち合える未来を一緒につくりたい。
統一協会と政治家の癒着を断ち切ることを求めます。
電機職場の黒字リストラから雇用を守ります。
水害から緑の住環境を守ります。

党くらしの相談センターなかはら相談員

●プロフィール
1973年、川崎市中原区生まれ。市立井田小学校、市立井田中学校、県立新城高校、文化女子大学卒業。高校の家庭科講師、ニット製品企画デザイン、ソーシャルワーカーとして働く。



やまき よこ
日本共産党
八巻 よここ

中道改革連合

Centrist Reform Alliance

衆議院議員1期 **松下政経塾出身**
元銀行員 元こども支援団体事務局長

実績

- 役職歴:厚生労働委員、立憲民主党政調会長補佐、立憲民主党こども政策部門役員
- 厚生労働委員として、年金、介護、医療、福祉政策をライフワークに取り組む。
- 党政調会長補佐として基金や事業の精査を担当。予算のムダを徹底検証。
- 党こども政策部門役員として、障害児童に関する手当等の所得制限撤廃法案を国会に提出。

プロフィール

- 1993年1月5日生まれ、溝口6丁目在住
- 共働きの両親のもとに育ち、小学生から祖父母の介護を経験
- 桐蔭学園高等学校卒
- 早稲田大学政治経済学部卒
- 三井住友銀行にて勤務
- 元こども支援団体事務局長／スウェーデンをはじめ国内外の福祉を研究
- 趣味: ラーメン屋さん巡り

平成生まれ、新時代への挑戦。

挑戦① 経済

「人への投資」で所得を増やす。

賃金を上げる!家計を支える!未来へ投資する!

- ✓ 給付付き税額控除を超党派で実現
- ✓ 公的家賃補助制度を創設し、単身・若者・現役世帯の住まいの安心を確保
- ✓ 中小企業の社会保険料負担を軽減しつつ、最低賃金1,500円にむけ段階的に引き上げ

〈地方分権〉 スマートな「分散型のまちづくり」へ
〈外交安保〉 「遠くに抑制的、近くに現実的」な体制へ
〈個人の尊重〉 誰もが「自分らしく輝ける」社会環境へ

挑戦② 暮らし

みんなで「支え合う」社会保障。

「多摩川格差」の是正!子育て・医療・介護など暮らしを支えるサービスを守る!

- ✓ 子育て、介護、医療、生活インフラなど東京と川崎の生活支援格差(多摩川格差)を是正
- ✓ 介護士、保育士、教職員等の処遇を改善し、福祉・教育人材を確保
- ✓ 公的病院や救急・小児科・分娩医療を重点支援

もっと詳しい政策はこちら

挑戦③ 政治改革

一緒にはじめよう、「フェアで新しい」政治。

民間の「常識」で政治資金の透明性を確保!デジタル化で新しい政治へ

- ✓ 政治、政策決定をゆがめる企業・団体からの寄附を禁止
- ✓ 政治資金パーティーの禁止
- ✓ ICT活用で「スマホワンストップ行政窓口」を実現

33歳



はじめて
そこの創